

本気で農業で生計を立てたい方を、全力で支援します！



## 日高川町就農支援協議会



豊かな自然に囲まれた日高川町で、あなたも農業の第一歩を踏み出しませんか？

和歌山県の中部に位置する日高川町は、温暖な気候を活かしたミカン栽培が盛んですさらに、野菜や花、水稲、梅など多様な農業経営も行われており、地域全体で活発な農業が営まれています。



日高川町では農業者の高齢化により、今後10年で農家約30軒分の農地が新たに利用可能になる予定となっています。

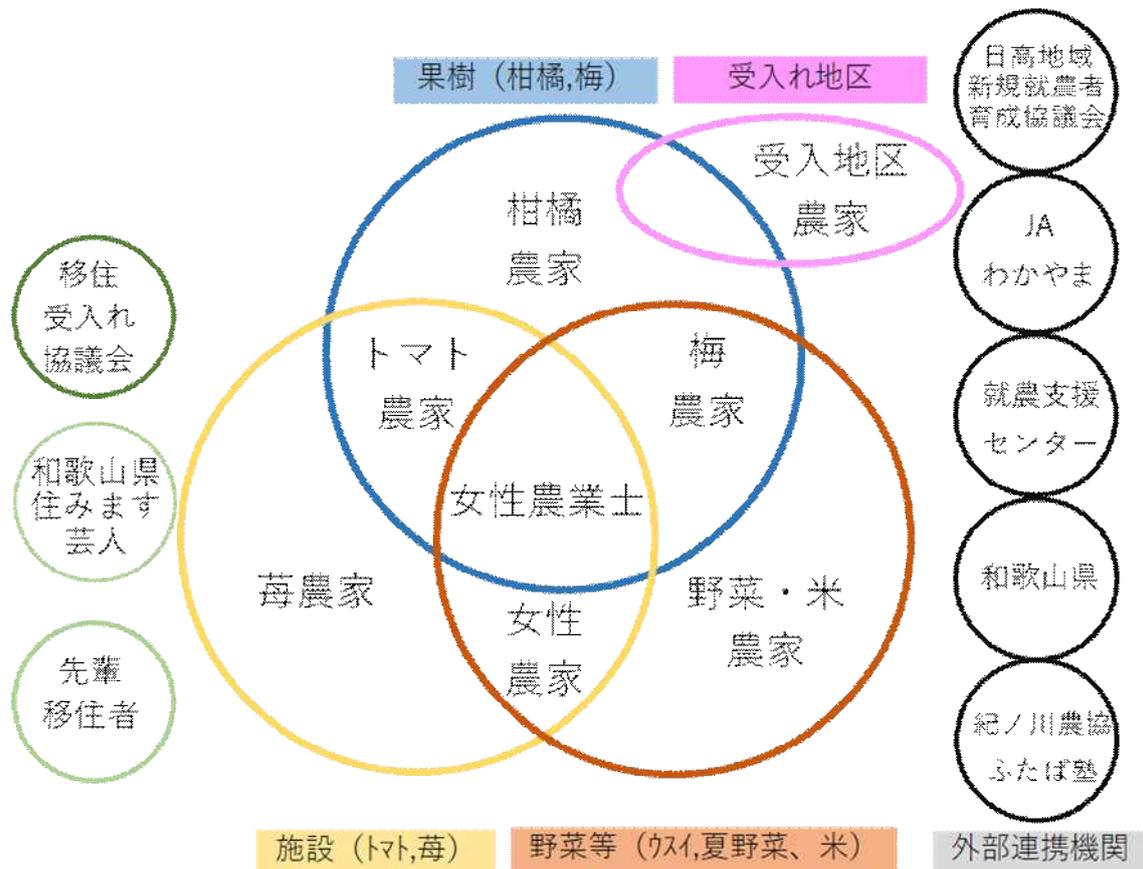
こうした状況を受け、新規就農者を支援するために、『就農支援協議会』が設立されました。農業技術の継承、農地の確保、そして町外からの移住促進をワンストップで支援し、希望する方がスムーズに農業を始められる環境を整えています。



## 就農支援協議会の構成

農業技術を指導する受け入れ農家や先輩農家とのマッチングはもちろん、農地や倉庫を探す受け入れ地区のメンバー、生活面を支える女性農家、住居探しを支援する移住受け入れ協議会など、多様な支援者によって構成されています。

さらに、農業関係の各種団体・機関とも連携し、新規就農者をトータルでサポートします。



■**支援制度**： 研修農家での研修中は、諸条件をクリアした方は、国の就農準備資金を受け取ることができます。  
(1人あたり年間150万円を最長2年間)

## 耕作OK地プロジェクト— あなたの農業の第一歩を応援！

協議会では、和歌山県住みます芸人「わんだーらんど」と協力し、耕作放棄地になりそうな園地の維持管理に取り組んでいます。活用できる土地を守りながら、新規就農者にとって安心して農業を始められる環境を整えています。

さらに今後は、新規就農者が活用できる「みかんの苗木」の育成にも力を入れ、就農希望者がすぐに栽培をスタートできる準備を進めていきます。

## 若者世代のリアルな声を集めました！【YouTube 公開中】



若手農家に『農業って実際どうなの？』と率直に聞いてみました。  
そのリアルな声を『日高川町就農応援チャンネル』で公開中です！



### 東 浩志さん (39歳)

1982年に農家の長男に生まれる。大学を卒業し、大阪でサラリーマンを経験。その後、地元に戻り実家のミカン栽培を手伝う。しかし、ミニトマト栽培に興味が出てきたことから、2012年に独立してミニトマト栽培を開始。

2006年より農業を開始。  
(2021年現在農業歴15年目)

ハウス栽培を行っており、周年を通してミニトマト(アイコ)を栽培されています。



施設ミニトマト農家として15年目の東さん  
「農業は家族と喜びを分かち合える仕事。  
それぞれの家族に合ったスタイルを築ける。」

### 垣内 宏和さん (44歳)

1997年に農家の家に生まれる。16年間大阪でサラリーマンを経験した後、農業を継ぐため親元就農。

2014年に農業を開始。  
(2021年現在、農業歴約7年目)

果樹、野菜、水稻の複合経営。栽培作物は、梅が一番多く、その他に柑橘類(温州ミカン、晩柑類)ウスイエンドウ、ブロッコリーなどを栽培されています。



梅や柑橘、野菜、水稻を育てて7年目。垣内さん  
「収穫物が良い仕上がりで、それを販売できたときの達成感こそが、農業のやりがい！」

### 瀧本 雅史さん (40歳)

1981年に農家の長男に生まれる。専門学校を卒業して、大阪で13年間自営業を営む。その後、地元に戻り実家の農業を継承する。

2015年から農業を開始。  
(2021年現在農業歴6年目)

栽培作物は、温州ミカンが主体。その他に、中晩柑類(不知火、せとかなど)を栽培されています。



就農6年目の瀧本さんは、みかん・不知火・せとかな  
「サラリーマン時代と比べ、自分の時間を自由に調整できるのが農業の魅力。」

### 藏光 俊輔さん (42歳)

1979年に農家の家に生まれる。一度県外の一般企業で8年間サラリーマンを経験。その後、Uターンで地元へ帰ってきて、家の農業を継承。

2011年より農業を開始。  
(2021年現在、農業歴10年目)

栽培作物は、主に柑橘類と南高梅を栽培されています。



就農10年目、柑橘と南高梅を育てる藏光さん  
「農業を通じて、自然の中で生きていることを実感できる。それが何よりの魅力です。」

### 戸根 亮太さん (25)

1998年02月24日生まれ  
和歌山県日高郡日高川町出身

大阪の大学を卒業した後、  
京都で2年間カフェにて勤務。

実家が農家ということもあり、  
2年前(2021)にUターンし、  
農業を継承。

野菜と果樹の複合経営。  
栽培品目はウスイエンドウ、  
梅、柑橘を栽培しています。



就農3年目、柑橘とうすいえんどうを育てる戸根さん  
「大変なことも多いが、畑や作物に囲まれた豊かな環境の中で生きていることを実感できる。」

### 松井 利郎さん (47)

1976年5月に農家の長男として生まれる。

大学卒業後、(一年農業E(7、翌年に)  
公務員になる。  
2017年3月脱サラして農業の道へ。  
(2024年現在就農13年目)

栽培作物は主に  
温州みかん、不知火を栽培。



就農13年目、みかんと不知火を育てる松井さん  
「自分の力でゼロから作り上げる。その過程こそが、農業の最大の楽しさです。」

## 農業経営モデルの一例

日高川町内の農業経営モデルの一例をご紹介します。

これはあくまで参考ですが、『この規模で耕作すれば、この程度の所得が得られる』という目安としてご活用ください。らに、栽培方法や作物の選び方、販売戦略次第で可能性は無限に広がります！

### Aさんの場合

品目:	<u>うすいえんどう・なす等</u>	
栽培方式:	施設・露地栽培	
経営面積:	<u>0.5ha+0.2ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>460万円</b> (売上: 1262万円)	

### Bさんの場合

品目:	<u>ミニトマト</u>	
栽培方式:	施設栽培	
経営面積:	<u>0.2ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>650万円</b> (売上: 1600万円)	

### Cさんの場合

品目:	<u>イチゴ</u>	
栽培方式:	施設栽培	
経営面積:	<u>0.2ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>450万円</b> (売上: 900万円)	

### Dさんの場合

品目:	<u>みかん・晩柑</u>	
栽培方式:	露地栽培	
経営面積:	<u>2.5ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>459万円</b> (売上: 1062万円)	

### Dさんの場合

品目:	<u>みかん等</u>	
栽培方式:	露地栽培	
経営面積:	<u>1.5ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>405万円</b> (売上: 937万円)	

### Eさんの場合

品目:	<u>みかん・梅</u>	
栽培方式:	露地栽培	
経営面積:	<u>2.0ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>570万円</b> (売上: 1025万円)	

### Fさんの場合

品目:	<u>みかん・ナス</u>	
栽培方式:	露地栽培	
経営面積:	<u>1.2ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>400万円</b> (売上: 925万円)	

### Gさんの場合

品目:	<u>みかん・うすいえんどう</u>	
栽培方式:	露地・施設栽培	
経営面積:	<u>1.2ha</u>	
労働者数:	2名(常駐) 休日: 月4日	
所得:	<b>405万円</b> (売上: 1010万円)	

## 農業の魅力をも、まずは体験から！あなたも一歩踏み出してみませんか？

農業は、1年を通じて多様な作業があり、随時1日体験を募集しています。

### 【体験できる農作業の例】

1・2月	3・4月	5・6月	7・8月	9・10月	11・12月
ブロッコリーの収穫	うすいえんどう収穫	梅の収穫	みかん園の整備	みかんの収穫	みかんの収穫
梅の剪定	晩柑の収穫	田植え	みかんの摘果	稲刈り	梅の剪定
中晩柑の収穫		草刈り	草刈り		



日高川町役場農業振興課

〒649-1324 和歌山県日高郡日高川町土生 160

☎0738-22-2048

✉ホームページのお問合せフォーム

